



翼



第4号 令和8年7月16日 発行

運動会アンケートの結果から

校長 辻 康一

先日はたくさんの保護者の皆様が運動会にご来校くださいました。ありがとうございます。生徒たちの一生懸命な気持ちが、たくさんの方々に届いたことと思います。アンケートでも95%以上の皆様から肯定的な評価をいただきました。

- ・当日はとても感動しました！
- ・一生懸命に頑張る姿というのはこんなにも美しいのか、と大切な気持ちを思い出させていただきました。
- ・生徒が主体的に運営にも関わっている様子がよくみえて素晴らしいと感じました。
- ・体育館が開放されていて、小さいお子さん連れの方等に良いと思いました。
- ・休憩しながらもみることができてとても良かったです。
- ・ボランティアされていた多くの保護者の皆様が、とても丁寧に誘導してくださったので、とても移動がしやすかったです。

しかしながら、ご指摘やご意見をいただいた内容もありますので、体育行事委員会等で検討した結果、以下に学校としての見解をお伝えします。

1 観覧場所の問題、および家庭の人数制限について

ご意見をいただいた中で、最もご指摘が多かったのが、観覧場所の狭さと各家庭2名まで(小学生以下は人数に含まない)という人数制限についてでした。

観覧場所については、運動会を開催するにあたって以下のことが最優先になります。

- ① 200mトラックを確保すること(トラックが小さくなると、カーブがきつくなるため危険です)
- ② 生徒の安全を確保するため、1レーンの幅を1mにすること
- ③ クラス数のレーンを設置するため、今年度は6レーンが必要になること
- ④ 生徒の体調面を考慮して、全クラスがテントの下で観覧するための生徒席を確保すること
- ⑤ 生徒が入退場を行ったり、トイレに行ったりするための動線スペースを設置すること
- ⑥ 用具の置き場所や、係の生徒の待機場所が必要であること

以上が、生徒が安全に運動会に参加するために必要なことであり、その次に保護者の皆様に参観していただくスペースを提供することになります。本校の現状を鑑みると、十分な場所を確保できているとはいえないことは承知しています。したがって、各ご家庭2名までという人数制限を設けております。学校としましても、たくさんの方々に生徒たちの成長を見ていただきたいのですが、観覧場所が限られているため、このようなお願いをさせていただいています。

保護者の皆様のお気持ちは、十分承知しておりますが、生徒たちが安全に運動会に参加することが大前提ですので、来年度以降も人数制限は継続いたします。ただ、事前に運動会のご案内を配布したり「すぐる」で配信したりと、周知を図ったつもりですが、ご家庭によっては「知らなかった」というケースもあり、来年度以降は周知徹底の方法について検討していきます。

以下のようなご意見も見られましたので、なによりも保護者の皆様のご理解とご協力が必要であると考えています。どうかよろしくお願いします。

- ・学年色のシールがわかりやすかったので、概ねそれぞれの学年の競技の際に場所を譲り合って観ることができました。しかしながら、中には並んでもいなかったのに平気な顔をして割り込んできたり、譲らずに場所を独占されたりする方もいて残念だなと思いました。
- ・観覧場所を譲り合って…とはアナウンスがありましたが、他学年の競技になってもその場から動かない保護者がいらっしやり、なかなか列の前行けず競技を観覧することが難しいように感じました。
- ・当該学年じゃない保護者が最前列を陣取って動かないことがほとんど。放送だけでは改善は見られないのもっと考えて欲しい。
- ・校舎側でない方も保護者が交代するようお声掛けをしていただいたりしないと、ずっと同じ場所に陣取っている保護者もあり、なかなか観覧スペースを確保するのが難しかったです。

なお、学年ごとの入れ替え制という案もありますが、そうした場合、生徒たちが連続で競技に参加することになり、暑い中での体調面の心配もありますので、従来どおり半日の中で競技を分散させて進行いたします。

また、給食室や体育館前の網につきましては、取り外しができるものではありません。日頃からの防球のために設置されているものであり、構造上運動会当日だけ外すことはできません。

学年別の運動会開催については、「生徒たちが他学年の姿を見る」ことに大きな意義があると考えているため実施しません。下級生が上級生の姿にあこがれ、上級生が下級生を温かく見守ることが、運動会をはじめとした学校行事の目的の一つです。したがって、来年度も今年度と同じ形で実施します。

2 写真のインターネット販売の中止について

今年度より、写真のインターネット販売を中止しました。理由については以下のとおりです。

① 運動会は体育着を着用しているため、競技中の写真では身体の線が出やすい

② 運動会では生徒たちの必死の思いが出るため、不適切な形相が写真として表現されてしまうケースがある

これまででは、生徒たちが傷つかないよう、先生たちが何千枚もの写真を何日もかけてチェックしていましたが、それらの時間をより子どもと向き合う時間に使えるよう、今年度から中止しました。ただ、保護者の皆様への周知が遅れましたことは申し訳ありませんでした。

3 案内について

今年度の案内に晴雨にかかわらずお弁当が必要なこと、午後も教室内での活動があることなどが明記されていなかったため、1年生の保護者の方々には、わかりづらかったというご意見をいただきました。また、競技の開始時間の目安があるとよいというご意見もありましたので、その点につきましては来年度に改善していきます。

なお、お弁当につきましては冷房の効いた教室で保管しますので、ご承知おきください。

4 その他

- ・スプリンクラーを使っただけの競技中の散水はできません。生徒や観覧者を含め、すべてが水浸しになってしまいます。また、競技のラインが消えてしまうこと、椅子や放送機器に水がかかること、場所によって水たまりになり、危険になることも想定されます。
- ・3年生のソーラン節は、現在は裸足で演技を行っていますが、炎天下でのグランドコンディションを考慮して、安全を確保できるよう検討します。

■第 54 回多摩地区特別支援教育研究会バスケットボール大会

多摩地区の特別支援学級の生徒が参加するバスケットボール大会が、6月19日(金)に東京ドームスポーツセンター東久留米で行われました。今年度も多くの保護者の方に来ていただき感謝しております。

毎日保健体育の授業で練習してきたことをしっかり発揮することができました。試合では、相手チームを尊重する心や、最後まで全力を尽くして楽しむ心を持ちながら、一人ひとりが力を発揮し、充実した大会となりました。B1とC1とC2チームは優勝、B2とC3チームは準優勝となりました。

(文責：岡田)



■租税教室（3年）

立川税務署より講師としてご来校いただき、3年生を対象に租税教室を開催しました。

3年生は社会科で公民分野を学習していますが、専門であるゲストティーチャーのお話は、とても興味がわくものでした。

夏休みに取り組む「税の作文」について、大いに参考になりました。

ありがとうございました。

(文責：馬野)



■道徳授業地区公開講座 7月11日(土)学校公開日

「社会での人とかかわりの中で、互いに認め合い支えあう関係づくりについて考える」（公正、公平、社会主義）をテーマに、1年生は「傍観者でいいのか」、2年生は「『いじり』？『いじめ』？」、3年生は「いじめから目をそむけない」、I・J学級1年生は「傍観者でいいのか」、2年生は「私のせいじゃない」、3年生は「無実の罪」の教材を用いて授業を行いました。1年生では、「いじめをする人」「いじめられている人」は目に見えてわかりやすい反面、「見ているだけの人」（傍観者）「はやし立てる人」（観衆）に目を向けてみようとして授業に臨みました。もし、自分自身が傍観者、観衆の立場になっているとき、自分にはどんなことができるのかを個人、班、クラスで考えました。一人でいじめを止めようとするのは勇気がいることであり、生徒たちからは、「仲間と一緒に『やめよう！』と伝える。」「自分たちで止められなかったら、先生に報告する。」などの声が挙がっていました。また、「日ごろから本音を言い合える仲間になる。」「個を理解していく。」など、いじめを止める以前の前向きな意見も挙がりました。最後には、クラスの「いじめゼロ宣言」を考え、各クラスに掲示しました。これからも安心できるクラス・学年・学校を教員・生徒ともに作っていきます。

道徳授業後の学校・家庭・地域の意見交換会には、皆さまご参加いただきありがとうございました。大人の意見でも、「仲の良い人には『いじり』のようなことをしてしまうこともある。」などの意見が挙がり、相手の立場になって考えることは、いくつになっても気を付けていかなければならないと大人たちも再確認しました。

意見交換会で挙げた意見は今後の道徳の授業や日ごろの指導に活かしてまいります。

(文責：市川)

